

(案)

第四次国有林野施業実施計画 第二次変更計画書

(網走西部森林計画区)

計画期間 (自 平成26年4月 1日)
 (至 平成31年3月31日)

策 定 年 月 日 : 平成26年3月28日
第一次変更年月日 : 平成28年3月28日
第二次変更年月日 : 平成29年3月 日

北海道森林管理局

網走西部森林計画区の第四次国有林野施業実施計画の変更について

【変更理由】

次の理由から国有林野管理経営規程（平成11年農林水産省訓令第2号）第14条第2項に基づき変更する。

- 1 施業方法の精査により、主伐の伐採方法及び更新方法の変更に伴い、水源涵養タイプにおける施業群別面積等及び水源涵養タイプの施業群別の上限伐採面積を変更する。
- 2 森林整備の必要箇所を精査により、人工林の間伐等に係る伐採箇所の追加等から伐採総量を変更する。

なお、本変更計画は、平成29年4月1日から適用する。

【変更項目及び頁】

- 2 施業群の名称並びに区域、伐期齢又は回帰年、上限伐採面積、伐採箇所ごとの伐採方法及び伐採量並びに更新箇所ごとの更新方法及び更新量
 - (2) 水源涵養タイプにおける施業群別面積等 (1) 1
 - (3) 水源涵養タイプの施業群別の上限伐採面積 (2) 3
 - (4) 伐採総量 〈施実変更3〉 3

注：1 ()書きは、網走西部森林計画区の第四次国有林野施業実施計画書、〈 〉書きは第一次変更計画書の頁である。

2 本文については、変更等を行う項目に係る部分を掲載しており、下線部が変更等の箇所である。

【現行計画】

2 施業群の名称並びに区域、伐期齢又は回帰年、上限伐採面積、伐採箇所ごとの伐採方法及び伐採量並びに更新箇所ごとの更新方法及び更新量

(2) 水源涵養タイプにおける施業群別面積等

(単位：ha)

区分	面積	取扱いの内容	伐期齢又は回帰年	
			樹種	
単層林施業群	16,940	人為を積極的に加えることにより、単層状態の森林を造成・維持する。 【施業方法：育成単層林へ導くための施業】	トドマツ	65年
			アカエゾマツ ・エゾマツ	80年
			カラマツ ・グイマツ	50年
			その他針葉樹	60年
長期単層林施業群	14,951	人為を積極的に加えることにより、伐期の長期化を図り、単層状態の森林を造成・維持する。 【施業方法：育成単層林へ導くための施業】	トドマツ	100年
			アカエゾマツ ・エゾマツ	120年
			カラマツ ・グイマツ	80年
			その他針葉樹	90年
複層林施業群	2,309	人為を積極的に加えることにより、複数の樹冠層を有する森林を造成し、将来にわたり非皆伐状態を維持する。 【施業方法：育成複層林へ導くための施業】	トドマツ	伐採始期 60年 伐採終期 100年
			アカエゾマツ ・エゾマツ	伐採始期 70年 伐採終期 120年
			カラマツ ・グイマツ	伐採始期 40年 伐採終期 80年
			その他針葉樹	伐採始期 50年 伐採終期 90年
混交林施業群	10,778	必要により人為を加えることにより、広葉樹等の導入・育成を図り、針広混交林を造成・維持する。 【施業方法：育成複層林へ導くための施業】	30年	
育成天然林施業群	43,787	必要により人為を加えることにより、多様な樹種による複数の樹冠層を有する森林を造成・維持する。 【施業方法：育成複層林へ導くための施業】		
天然生林施業群	24,586	天然力を活用することにより、森林を造成・維持する。 【施業方法：天然生林へ導くための施業】		
合計	113,351			

注) 林地面積の集計である。

計は四捨五入の為、必ずしも一致しない。(以下の表についても同じ)

【変更計画】

2 施業群の名称並びに区域、伐期齢又は回帰年、上限伐採面積、伐採箇所ごとの伐採方法及び伐採量並びに更新箇所ごとの更新方法及び更新量

(2) 水源涵養タイプにおける施業群別面積等

(単位：ha)

区分	面積	取扱いの内容	伐期齢又は回帰年	
			樹種	
単層林施業群	16,451	人為を積極的に加えることにより、単層状態の森林を造成・維持する。 【施業方法：育成単層林へ導くための施業】	トドマツ	65年
			アカエゾマツ ・エゾマツ	80年
			カラマツ ・グイマツ	50年
			その他針葉樹	60年
長期単層林施業群	14,654	人為を積極的に加えることにより、伐期の長期化を図り、単層状態の森林を造成・維持する。 【施業方法：育成単層林へ導くための施業】	トドマツ	100年
			アカエゾマツ ・エゾマツ	120年
			カラマツ ・グイマツ	80年
			その他針葉樹	90年
複層林施業群	3,094	人為を積極的に加えることにより、複数の樹冠層を有する森林を造成し、将来にわたり非皆伐状態を維持する。 【施業方法：育成複層林へ導くための施業】	トドマツ	伐採始期 60年 伐採終期 100年
			アカエゾマツ ・エゾマツ	伐採始期 70年 伐採終期 120年
			カラマツ ・グイマツ	伐採始期 40年 伐採終期 80年
			その他針葉樹	伐採始期 50年 伐採終期 90年
混交林施業群	10,778	必要により人為を加えることにより、広葉樹等の導入・育成を図り、針広混交林を造成・維持する。 【施業方法：育成複層林へ導くための施業】	30年	
育成天然林施業群	43,787	必要により人為を加えることにより、多様な樹種による複数の樹冠層を有する森林を造成・維持する。 【施業方法：育成複層林へ導くための施業】		
天然生林施業群	24,586	天然力を活用することにより、森林を造成・維持する。 【施業方法：天然生林へ導くための施業】		
合計	113,351			

注1) 林地面積の集計である。

注2) 計は四捨五入の為、必ずしも一致しない。(以下の表についても同じ)

【現行計画】

(3) 水源涵養タイプの施業群別の上限伐採面積

(単位：h a)

施業群	単層林	長期単層林	複層林	混交林	育成天然林	天然生林
上限伐採面積	1,359	754	453	2,695	10,946	6,147

(4) 伐採総量

(単位：m³、h a)

区 分	林 地					林 地 以 外	合 計
	主 伐	間 伐	小 計	臨時伐採量	計		
山地災害防止タイプ	10,199	(1,933) 109,871	120,070				
自然維持タイプ	-	-	-				
森林空間利用タイプ	-	(31) 2,105	2,105				
快適環境形成タイプ	-	-	-				
水源涵養タイプ	単層林	(3,021) 38,704	179,178	217,882			
	長期単層林	-	(2,435) 144,686	144,686			
	複層林	37,540	(156) 9,603	47,143			
	混交林	7,087	(1,677) 90,976	98,063			
	育成天然林	3,988	(491) 32,568	36,556			
	天然生林	-	-	-			
	計	87,319	(7,779) 457,011	544,330			
合 計	97,518	(9,743) 568,987	666,505	121,200	787,705	-	787,705
年 平 均	19,512	(2,009) 116,177	135,689	24,507	160,196	-	160,196

注1) 上段()は、間伐面積である。

注2) 「年平均」は、変更前の年平均に今回の変更計画による伐採量の増減量を本計画期間の残期間で除したものを加えて算出した数量を計上した。

【変更計画】

(3) 水源涵養タイプの施業群別の上限伐採面積

(単位：ha)

施業群	単層林	長期単層林	複層林	混交林	育成天然林	天然生林	その他
上限伐採面積	<u>1,311</u>	<u>736</u>	<u>642</u>	2,695	10,946	6,147	-

(4) 伐採総量

(単位：m³、ha)

区 分	林			地		林地 以外	合 計
	主 伐	間 伐	小 計	臨時伐採量	計		
山地災害防止タイプ	10,199	(1,933) 109,871	120,070				
自然維持タイプ	-	-	-				
森林空間利用タイプ	-	(31) 2,105	2,105				
快適環境形成タイプ	-	-	-				
水源涵養タイプ	単層林	(3,024) 38,704	179,410				
	長期単層林	-	(2,516) 150,961	150,961			
	複層林	37,540	(163) 10,041	47,581			
	混交林	7,087	(1,691) 92,093	99,180			
	育成天然林	3,988	(491) 32,568	36,556			
	天然生林	-	-	-			
	計	87,319	(7,885) 465,073	552,392			
合 計	97,518	(9,849) 577,049	674,567	121,200	795,767	-	795,767
年 平 均	19,512	(2,602) 120,208	139,720	24,507	164,227	-	164,227

注1) 上段()は、間伐面積である。

注2) 「年平均」は、変更前の年平均に今回の変更計画による伐採量の増減量を本計画期間の残期間で除したものを加えて算出した数量を計上した。

【現行計画】

(再掲) 市町村別内訳

(単位：m³、ha)

区 分	林 地					林 地 以 外	合 計
	主 伐	間 伐	小 計	臨時伐採量	計		
紋 別 市	25,104	(2,552) 125,115	150,219				
遠 軽 町	57,670	(3,886) 250,173	307,843				
湧 別 町	4,254	(565) 43,036	47,290				
滝 上 町	10,490	(2,739) 150,663	161,153				
合 計	97,518	(9,743) 568,987	666,505				

注1) 市町村別内訳には、臨時伐採量及び林地以外の土地に係る伐採量は含まれていない。

注2) 上段()の数値は間伐面積(ha)を表し、合計は四捨五入の為、必ずしも一致しない。

【変更計画】

(再掲) 市町村別内訳

(単位：m³、ha)

区 分	林 地					林 地 以 外	合 計
	主 伐	間 伐	小 計	臨時伐採量	計		
紋 別 市	25,104	(2,552) 125,115	150,219				
遠 軽 町	57,670	(3,992) 258,235	315,905				
湧 別 町	4,254	(565) 43,036	47,290				
滝 上 町	10,490	(2,739) 150,663	161,153				
合 計	97,518	(9,849) 577,049	674,567				

注1) 市町村別内訳には、臨時伐採量及び林地以外の土地に係る伐採量は含まれていない。

注2) 上段()の数値は間伐面積(ha)を表す。